

さつきバス車両のラッピングデザインについて

1. 概要

現在運行するさつきバスのラッピングは、令和2年1月に導入した、美濃桃山陶を代表する志野をイメージした「黄丹色」で、戦国武将のイメージへと繋げるデザインとして、「市松模様」としていた。

バスのラッピングについては、これまでも多くの意見をいただいております、子どもたちの笑顔につながるラッピングにすることで、走る広告塔として可児市をPRしていく。



【 ①令和5年度地域公共交通網形成計画中間評価市民アンケートより 】

- ・目立つ色のカラーリングが良い。
- ・小さい子が見るたびに乗りたいと思えるバス
- ・バス（内も）のデザインをかわいくしたり、音楽を流したりできないか。

【 ②可児市地域公共交通協議会での意見 】

- ・子ども向けのイベント等、子どもたちがバスに楽しんでもらえる機会があるとよい。

2. デザイン案

可児市出身のアーティストとして、「TOMASON」というアーティストがいる。独自の「モンスター」を描き続け、これまでアートフェスや個展、各種イベント等を通じて、人気を博している。その「TOMASON」によるデザインをさつきバスへ導入したい。

3. 「TOMASON」とは

【略歴】

- ・岐阜県可児市出身
- ・地元岐阜県を中心にアートフェスや個展、ワークショップ等を開催する。
- ・2011年から毎日独自のモンスターを描き続けている。
- ・2019年10月から表参道にて自身のギャラリー“MAT”をオープン。
- ・2020年に出版レーベル“白い立体”からオリジナルモンスターをまとめた図鑑をリリース。

【活動実績（抜粋）】

- ・TOMASON LAND in 養老（養老公園/岐阜）
- ・清流の国芸術祭アート体験プログラム -アートラボぎふ 特別講師
- ・CERAMIC VALLEY CRAFT CAMP 24（インスタレーション / メインビジュアル等）
- ・in 寺 ction - TOMASON LAND ZERO OPEN -（光蓮寺/岐阜）
- ・NHK “シブヤノオト” illiomote スタジオライブ セットデザイン
- ・横浜 DeNA ベイスターズ コラボグッズ “The Greatest MONSTER 9”（デザイン提供）

